



彩の国
埼玉県



埼玉県熊谷家畜保健衛生所

住所 熊谷市円光1-8-30

電話 048-521-1274/FAX048-526-1063

(夜間・休日等は緊急携帯電話に転送)

E-mail k211274@pref.saitama.lg.jp

家畜衛生だより

令和6年6月発行 No.6-4

今年も早めの暑熱対策をお願いします

気象庁の長期予報によると、6月からの3か月間は暖かく湿った空気が流れ込みやすく、全国的に気温が平年より高くなる見込みです。

暑熱ストレスは家畜の生産性に大きな影響を与えます。早めに対策を行い、暑い夏を乗り切りましょう！

暑熱対策のポイント

- ☑ 家畜の体感温度の低下
飼育密度の緩和、換気扇や扇風機による畜体等への送風や散水・散霧
- ☑ 畜舎環境の改善
寒冷紗やよしずによる日よけの設置、屋根裏・壁・床への断熱材の設置、屋根への石灰塗布散水
- ☑ 飼養管理
良質で消化率の高い飼料の給与、ビタミン、ミネラルの追給、清浄で冷たい水の給与



換気扇による送風（福井県）



石灰の吹き付け（宮崎県）



ネットに植物を這わせる（兵庫県）

農水省 HP より

【参考】牛の適温域

泌乳牛：5～20℃、育成牛：10～25℃、肉用牛：5～25℃



ハエの防除は、環境対策と殺虫対策で

ハエの活動は、梅雨の前後と夏から秋の時期に活性化します。ハエの発生は、近隣住民からの苦情の原因になるばかりでなく、病原菌やウイルスの媒介、ストレスによる家畜の生産性の低下にもつながります。

ハエの駆除方法についてもう一度確認し、農場をハエの発生しにくい環境に整備しましょう。

ハエ対策のポイント

☑ 環境整備（ハエに適した環境を与えない）

こまめに除糞と清掃をしましょう。堆肥は適切な切り返しを行うと、発酵熱と乾燥でウジは死滅します。

☑ 殺虫対策（科学的方法によるハエ駆除）

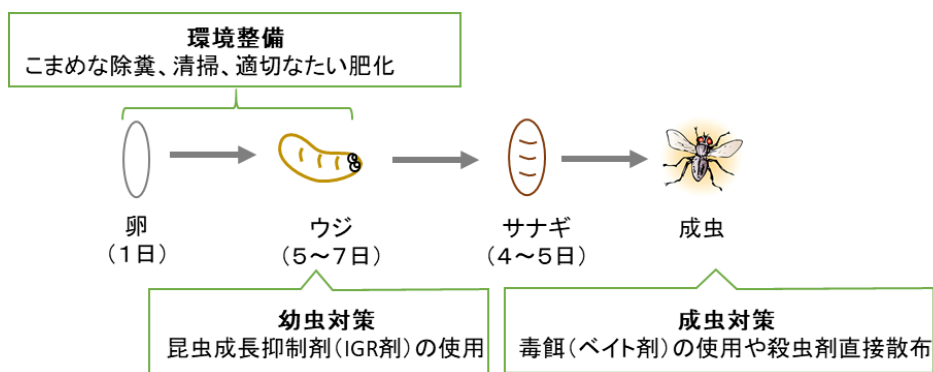
➤ 幼虫対策 《発生源対策！ウジ退治を！》

- 畜舎の中にハエの幼虫は成虫の約4～5倍も存在するといわれています。
- 昆虫成長抑制剤（IGR剤）を散布しましょう。

➤ 成虫対策 《発生源対策をしても成虫が出てきたら成虫対策を》

- 毒餌（ベイト剤）は2週間おきに新しい薬剤に交換しましょう。
- 殺虫剤直接散布する場合は、ハエが畜舎内にとどまっている夜か朝一、雨天の日が効果大です。

同じ殺虫剤を連用するとハエが耐性を獲得するので、異なる系統の薬剤をローテーションして使用しましょう。



家畜排せつ物管理方法等実態調査に御協力をお願いします！

今年度、家畜排せつ物処理状況の実態を把握するために調査を行います。お忙しいところ申し訳ありませんが、御対応よろしくお願ひいたします。

対 象:家畜排せつ物法に定める管理基準適用農家

(牛・馬 10 頭以上、豚 100 頭以上、鶏 2000 羽以上)

調査内容:排せつ物の処理方法、堆肥の生産量等

方 法:立入や電話による聞き取り又は調査票郵送

